

小郡市青少年育成市民会議だより

「大人が変われば、子どもも変わる」

2024年3月1日発行

発行者:小郡市青少年育成
市民会議
住所:小郡市小郡255-1
小郡市役所内
電話 070-2371-1184

今年度の活動状況

- ①花いっぱい運動（6月15日～10月30日に募集、3月1日報告書の締め切り）
- ②夏季・冬季ジュニア研修会（7月29日、11月25日に開催）。会場を生涯学習センターから、夏季は、「東野校区コミュニティセンター」に、冬季は「あすてらす」にそれぞれ変更しました。
- ③親子体験活動：前年度からの継続事業としてジャガイモの収穫（5月27日～6月4日）を実施。その後、サツマイモの植付けを6月24日に行い、10月21日、22日に収穫しました。来年度、収穫予定のジャガイモの植付けを2月下旬に実施しました。
- ④指導者育成研修（6月25日、少年団体指導者研修会・プレイリーダー研修2級への参加）
- ⑤市民会議40周年記念大会（11月5日）
- ⑥おごおりっ子からのメッセージ（小中高校・小郡特別支援学校の代表者および夏季ジュニア研修会参加者による主張大会。本年度は市民会議40周年記念大会の第3部として開催）
- ⑦ボランティア推進活動として、「ふれあいボランティアパスポート」を6月に配付し、回収したパスポートの集計を2月13日に行いました。今年度の回収数は2073枚でした。
- ⑧子ども安心安全見守り活動の一環として、7月～8月に、「こども110番の家」運動チラシを小学校新入生に配布するとともに、「こども110番の家」運動の旗等を補充しました。
- ⑨広報活動（「市民会議だより」を年度内に2回発行。1回目は8月に、2回目は3月にそれぞれ配布）
- ⑩ホームページの改定
- ⑪以上の諸事業を実施するための方針を策定するために、今年度は、2月末までに、役員会6回、理事会9回、指導員会1回および部会・委員会を21回開催しました。

賛助金のお願い

賛助金は2月末現在、1,170,600円に達しています。とりわけ、行政区長の皆様方には、おとりまとめにご尽力いただき、感謝申し上げます。今後とも市民会議活動にご賛同いただき、ご支援いただければ幸いに存じます。どうぞ、よろしくお願ひいたします。

1. 賛助金の納入方法

- ①市役所にご用件がある場合など、ご都合がよければ、小郡市青少年育成市民会議事務局（市役所北別館）に、ご持参ください。
- ②お振込みの場合の振込み先：西日本シティ銀行小郡支店（普通預金）1477389
小郡市青少年育成市民会議(オゴオリシセイショウネンイクセイシミンカイギ)
会長 工藤 正則（カイチョウ クドウマサノリ）
- ③ご持参やお振込みでは不都合な場合は、市民会議事務局にご連絡ください。
いただきに伺います。

2. 賛助金：個人 1口 100円、団体 1口 2,000円

3. 問合せ先：小郡市青少年育成市民会議事務局、電話：070-2371-1184

市民会議40周年記念大会

市民会議は1983年7月10日に結成され、本年40周年を迎えました。この記念大会は11月5日、文化会館にて、第1部「記念式典」、第2部「アトラクション」、第3部「おごおりっ子からのメッセージ」という構成で開催しました。ご来賓の皆様方の心温まる祝辞、小郡祇園太鼓保存育成会と三国中学校吹奏楽部の力強く、調和のとれた素敵な演奏、小中高生の瑞々しい主張、まことにありがとうございました。また、当日は全体で380名もの参加者がありました。ご来場くださった方々に感謝申し上げます。

これまで市民会議活動にご支援いただいた方々に改めて感謝いたします。40周年を機に、市民会議内に設置した組織整備委員会を中心に、市民会議に関わるさまざまな課題を検討しているところです。今のところ、来年度の総会で、改革の方向性を提案する予定になっております。今後とも、どうぞよろしくお願ひいたします。

第1部「記念式典」

(会長あいさつと来賓祝辞)



工藤会長



加地市長



井上県議



横尾県議



会長あいさつ

皆さんこんにちは。

日中の残暑とは裏腹に、朝夕は秋の深まりを感じるころとなりました。本日ここに、小郡市長加地良光様をはじめ、教育長秋永晃生様、福岡県議会議員井上忠敏様、横尾政則様、小郡市議会議員の皆様など多数のご臨席を賜り、小郡市青少年育成市民会議設立40周年記念大会を開催できますこと、心から深く感謝いたしながら、一言ご挨拶を申し上げます。

本市民会議は、昭和58年7月10日に結成されました。その結成大会決議文には、「青少年が心身ともに健康に育ち、情操豊かな社会人に育つことは、全市民の願いであり、あわせて青少年の健全育成、非行防止に尽力することが、地域住民の務めである。全ての青少年がその輝かしい未来を拓くことを念願し、全ての青少年に愛情と理解と信頼を寄せ、市民参加による青少年健全育成、非行防止運動を積極的に推進する」とあります。

私どもは、この精神にのっとり、学校、地域、家庭が一体となり、「大人が変われば子どもも変わる～小郡の子どもは小郡で守り育てよう～」というテーマで、市民参加による青少年健全育成を積極的に進めてまいりました。

しかし、近年の青少年を取り巻く社会の状況は、市民会議設立当時とは激変しており、国際化・情報化の進展、少子化、核家族化など、我が国の経済社会の急激な変化を受けて、人々の価値観や生活様式が多様化しております。一方で社会の傾向としては、人間関係の希薄化、地域社会のコミュニティ意識の衰退、過度に経済性や効率性を重視する傾向、大人優先の社会風潮などの状況が見られるといったことが指摘されております。そして、このような社会の状況は、地域社会における子どもの育ち

を巡る環境や家庭における親の子育て環境に変化を与えており、その影響を受け、子どもたちを取り巻く環境も、いじめや虐待、ヤングケアラー、貧困問題、パソコンやスマートフォンの普及によるSNS依存や有害情報の氾濫など、様々な課題に直面しております。

このような状況を踏まえ、市民会議では校区育成会や青少年関係団体との連携協力を進め、青少年の健全育成を支援してまいりました。

しかしながら、ここ数年は市民会議も様々な面で厳しい状況にあります。今ここに原点回帰し、市民会議の存在意義、活動内容を広く地域の方々に普及啓発し、設立当時の市民の皆様のお熱い思いをつないでいく必要があると考えています。

これまで「自然や文化、多様な人々との触れ合い」、「自らが考え、実行する体験の場や機会」の場を積極的に提供し、青少年の健全育成をめざした取組を推進してまいりました。「花いっぱい運動」、「夏季・冬季ジュニアリーダー研修」、「おごおりっ子からのメッセージ」、「オアシス運動」、「校区育成会実践発表会」、「食育体験講座」など、現時点では事業見直しでなくなった取組もごさいますが、青少年の心を育てる活動を工夫・改善しながら充実させてまいりました。設立40周年にあたり、記念大会を開催し、さらなる発展へ向け、関係者一同鋭意邁進いたす所存でございます。

最後になりますが、市民会議とその活動にご理解とご協力をいただき心から深く感謝いたしますとともに、今後とも、さらなるご指導、ご鞭撻のほどお願いし、ご挨拶いたします。本日は、よろしくお願ひいたします。

第2部「アトラクション」



小郡祇園太鼓保存育成会



三国中学校吹奏楽部

第3部「おごおりっ子からのメッセージ」

青少年の主張大会「おごおりっ子からのメッセージ」とは、大人や社会に対して訴えたいこと、日常生活の中で感じていること、学校や家で挑戦していることなどを、自分の生き方を通して発表し、またそれを聞いた同世代の青少年が社会の一員としての自覚を高めることを期待するものです。あわせて、子どもたちの健やかな成長のために、大人も理解を深め、実践していくことを目的としています。今年度は、市内16の小中高・特別支援学校の代表者、夏季ジュニア研修会の参加者のうち3名が発表しました。



小郡特別支援学校
小学部5年生の皆さん
「宿泊学習の思い出」



味坂小 富永幸来さん
「つながりの大切さ」



大原小 川田 晶さん
「人の幸せ、自分の
幸せ」



東野小 梶原歩人さん
「行動を起こす意味」



立石小 中島翠咲さん
「手と手をつないで」



小郡小 田中 湊さん
「力を合わせて八億人
を救いたい」



御原小 福本 健さん
「命と共に受けついで
いくもの」



のぞみが丘小
今村六花さん
「学び、伝えること」



三国小 井上陽菜さん
「つながりを大切に」



大原中 花田絢香さん
「誰かのためにできる
こと」



小郡中 坂本創太さん
「母の姿から考えた
こと」



宝城中 柳 颯さん
「一瞬の出会いが
一生の経験」



三国中 内川遥翔さん
「言葉のもつ力」



立石中 手嶋由紀奈さん
「人と比べず自分らしく」



小郡高 松葉口加奈さん
「『なりたい自分』に
なるために」



三井高 橋本侑香さん
「『じいじ』との話」



味坂小 旭田莉子さん
「夏季ジュニア研修会
を通して」



小郡小 樋口歩花さん
「カレーを初めて
つくった日」



東野小 田中茉妃さん
「夏季ジュニア研修会
での体験」



三国中 旭田恵彩さん
三国中 吉岡真央さん



夏季ジュニア研修会

市内小学校間の児童の交流、防災・災害について学ぶ、カレーライス作り体験を目的に、7月29日に、「東野コミュニティセンターひまわり館」で開催。スタッフを含む参加者は37名。防災安全課丸山係長のご指導を受け、防災・災害について学び、交流を深めました。ありがとうございました。



冬季ジュニア研修会

市内小学校間の児童の交流、日本の農業と食料について学ぶ、調理実習（豚汁と筑前煮）を目的に、11月25日、あすてらすで開催。スタッフを含む参加者は38名。米倉政実様（茨城大学名誉教授）のご指導を受け、日本の農業や食料について考え、子どもたちは講話や調理に真剣に取り組みました。



花いっぱい運動

下の写真はこれまでいただいた報告書のなかから団体の活動状況を示したものです。花いっぱいの小郡市になることを期待しています。

助成の申込があった団体
御原保育所、大崎保育所、味坂保育園、松崎保育園、城山保育園、みすず保育園、のびっこ園、小郡幼稚園、小郡カトリック幼稚園、麻生学園アスター幼稚園、麻生学園小学校、小郡小学校、大原小学校、東野小学校、三国小学校、味坂小学校、小郡中学校、立石中学校、小郡特別支援学校、三井高校、小郡高校、小郡校区協働のまちづくり協議会、立石校区協働のまちづくり協議会、三国小学校区協働のまちづくり協議会、緑区アンビシャス広場、宝城南区子供会、くるみパレエスタジオ



親子体験活動

6月24日に植え付けたサツマイモを10月21日、22日に収穫しました。

